

## 「授業計画（シラバス）」の読み方

この「授業計画（シラバス）」は、医学部、歯学部、薬学部および保健医療学部の第1学年において実施されるカリキュラムの理念と全体像、時間割、年間予定、および各授業科目について、その目標、授業方法、授業内容などを解説したものである。以下、各授業科目の解説の中で使用されている用語とその意味について説明する。

初めに「学修成果」であるが、これは学習者がその授業を学修した結果、身につくと期待される知識・技能及び態度などを総括的に示したものである。

一方、「学修到達目標」は、知識・技能・態度の3つの領域において、当該科目を学修する中でどのようなことができるようになることが望ましいかを具体的に記述したものである。すなわち、ここに掲げられた学修到達目標がすべて修得できたとき、学修成果が達成されたことになり、その科目を履修したこととなる。なお、学修到達目標の個々の目標を表すとき、日本語としては「～できるようになること」などと名詞形で表現する方が自然であるが、通常「～できる。」と文章の形で表されるので、ここでもそのようにしている。

学修成果と学修到達目標とは成績評価をなるべく客観的に行うために考え出された概念である。学生諸君は学修到達目標を読むことにより、その授業における学習のポイントをつかむことができる。

「授業概要」にはその科目の背景、教員からの学生への要望、授業方法などが書かれている。

「評価方法」にはその科目の評価の仕方が書かれている。

「教科書」、「参考書」にはその科目での指定教科書、参考書が書かれている。

「オフィスアワー」には授業内容に関する質問を受け付けるために、教員が特に空けている時間帯と受付場所が書かれている。ただし、メールや手紙などの手段を用いる場合もあり、授業時間内に知らせると書かれている場合もある。

「予定表」には各回での授業予定が書かれている。これを参考にすれば授業の全体像をつかむことができ、また各授業の準備を行うことができる。

また、科目名に付記されている“A”または“B”の表記は“A”は前期、“B”は後期を示しており、講義の内容は異なる。

学生諸君はこのシラバスを上手に活用して、各科目の学習に役立ててもらいたい。